2012年度環境活動レポート

対象期間：2012年７月～2013年６月

エコアクション21
認証登録番号 0004315

マトヤ技研工業株式会社

2013年７月28日発行

目 次

１　経営理念　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・2
２　環境方針　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・3
３　組織の概要・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・4
４　認証・登録の対象組織・活動　・・・・・・・・・・・・・・・・・6
５　2012 年度環境目標とその実績・評価　・・・・・・・・7
６　2012 年度環境活動の取り組み計画と評価　　・・8
７　2013 年度の取り組み　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・9
８　環境関連法規等の順守状況　・・・・・・・・・・・・・・・・・10
９　代表者による全体の評価と見直し　・・・・・・・・・・・11
１０環境活動の紹介　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・12

1　経営理念

社会的信頼と責任

会社を取り巻く人々と誠意を持って協調し、お客様の視点で考え、お客様に安心で安全な機械装置を提案し、社会的信頼と責任を果たします。

会社の発展

永続的発展を第一とする健全経営を推進し、業界の先頭に立ち、絶えず新技術を創造し、社会から支持され、信用される企業経営に努めます。

社員の幸福

社員の幸福の達成に努め、社員は産業人として絶えず研鑽に努め、創意工夫と進取挑戦の精神で仕事に取り組みます。

２　環境方針

マトヤ技研工業株式会社

環 境 方 針

人類の利便性を求める経済活動が一方では地球環境の破壊に繋がり、人類の存在を脅かしています。
マトヤ技研工業は、「低炭素・循環型・自然共生社会」を考慮し、省力化・環境配慮機器の開発、製作、販売事業、並びに有益な社内環境活動を通じ、持続可能な社会環境を追及してまいります。

１．事業活動全般における購入資材のグリーン調達、電力・燃料等のエネルギーの効率利用や水資源の有効利用による環境負荷及びコスト削減を追及し、最適な企業活動を目指します。

２．省力化機器メーカーとして、お客様に省力化や環境配慮商品を供給し、労働負荷や環境負荷並びにコスト軽減に貢献する企業を目指します。

３．業務及び製作工程における一般・産業廃棄物の発生を抑制し、発生物は資源への還元を目指します。

４．当社周辺の緑豊かな地域に鑑み、化学物質の適正保管と使用、排出抑制を行なうと共に生態系への影響の少ない物質への切替えに取り組みます。

５．地域に育まれる企業として、地域周辺の環境保全に全社員で取り組みます。

６．環境保全活動をシステム的に運営し、定期見直しを行い、継続的改善・汚染の予防を積極的に実施します。

７．環境関連法規及び同意したその他の要求事項を順守する等コンプライアンスの向上を目指します。

８．この環境方針は、当社の環境活動の指針として全従業員に周知し、一般の方に公開します。

制定日：2008 年６月１日
改定日：2013 年７月１日

代表取締役　益留 福一

3　組織の概要

（1）名称及び代表者名

マトヤ技研工業株式会社
代表取締役　益留　福一

（2）所在地

本社
〒899-8608
鹿児島県曽於市末吉町南之郷 3050-6
大阪営業所
〒561-0853
大阪府豊中市服部南町 1-4-10
東京営業所
〒121-0011
東京都足立区中央本町 4-15-13

（3）環境管理責任者氏名及び担当者連絡先

環境管理責任者　豊増　敏夫　（常務取締役）
環境事務局　益留　房代　（取締役総務部長）
連絡先　TEL　0986-76-0018
FAX　0986-76-2729
E-mail　info@matoya.com

（4）創　業　1985 年 6 月

益留、豊増、山内　の三名で創業。
それぞれの頭文字からマトヤと名付ける

（5）事業内容　自動省力機器設計・製作および販売

豚肋骨剥離機
（ミスターテンダー）

牛大腸切開機
（イエロードームくん）

新製品

牛皮剥ぎ機
（ダウンプーラー）

豚枝肉水切り機
（特徴は冷蔵庫節電対策になる）

（6）事業の規模（2012 年度：2012 年７月～2013 年６月）

売上高　　498 百万円

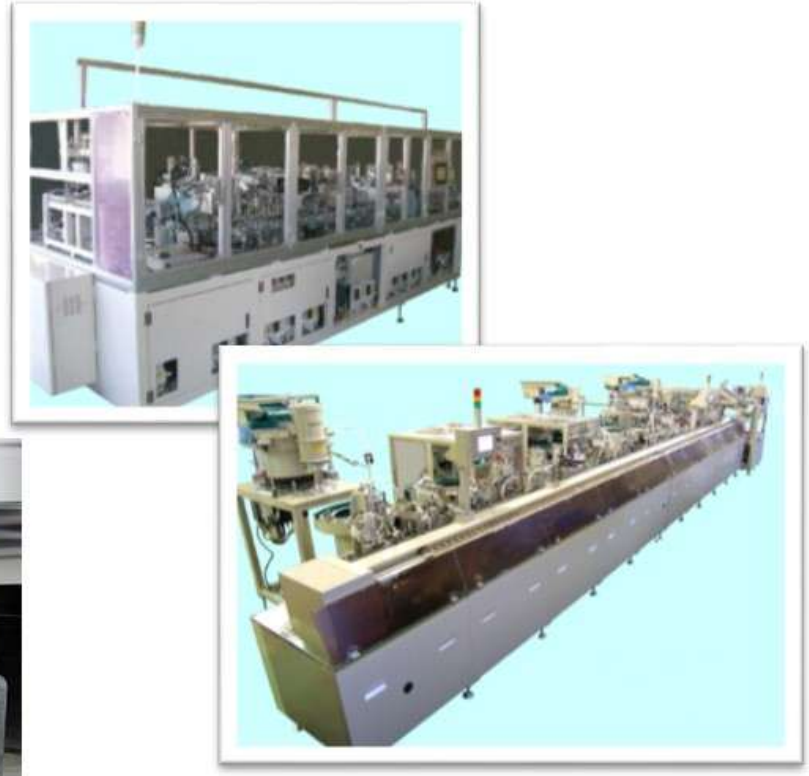
	本社	大阪営業所	東京営業所
従業員	36 名	１名	２名

（7）当社のプロセス

開発・発明 → 設計 → 加工 → 組立 → 据付工事

食肉・食品関連機械と電子部品生産システム自動車部品・クーラント関連機械の３部門　　特許・実用新案は 21 件

主な製品

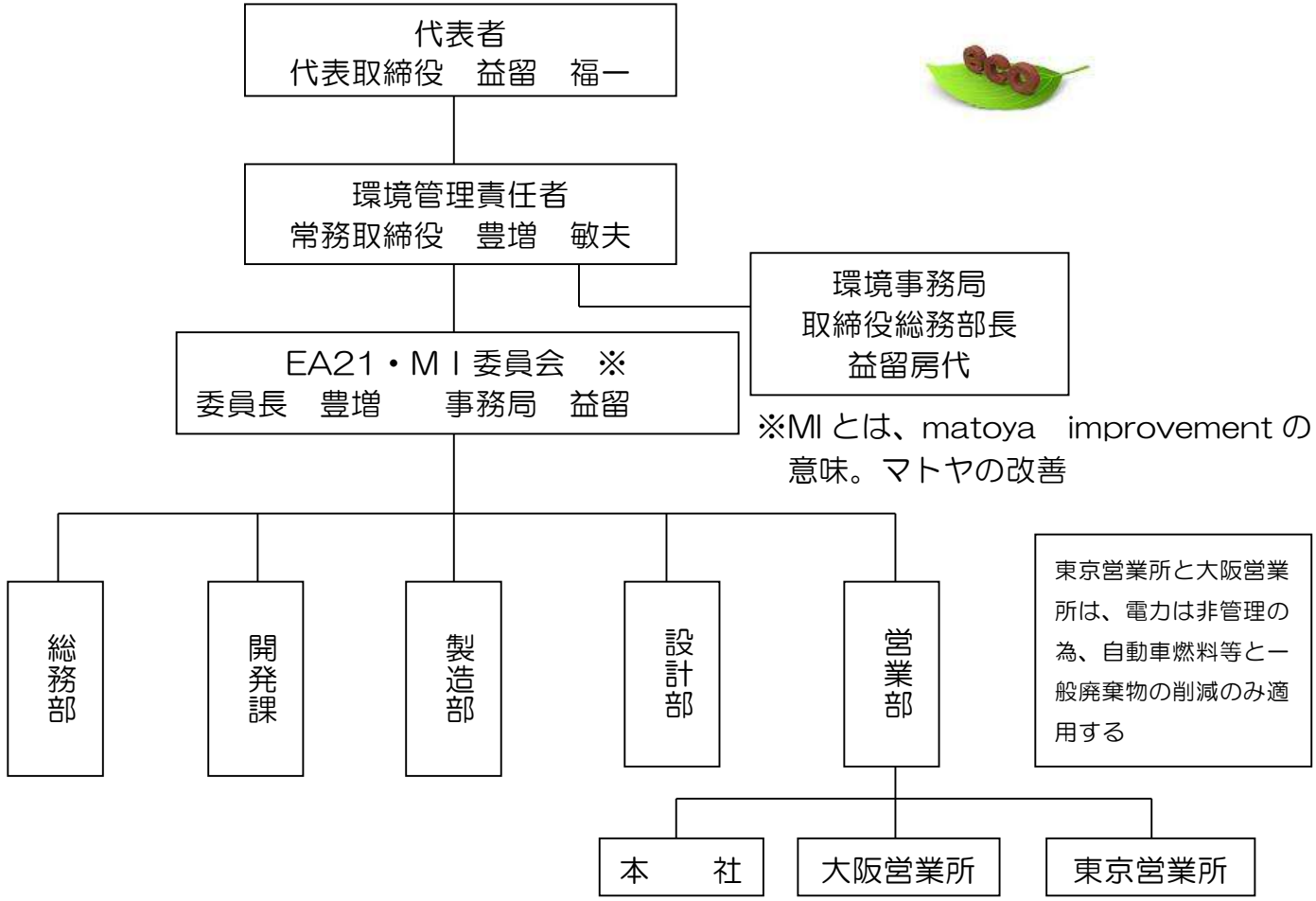


4 認証・登録の対象組織・活動

適用範囲：マトヤ技研工業株式会社 本社
大阪営業所・東京営業所

事業範囲：自動省力機器設計・製作および販売

環境経営システム実施体制



5　2012 年度　環境目標及びその実績・評価

1．二酸化炭素排出量の削減　　目標　　実績

　① 電力の削減：基準年比　　△1%　　△1.7%

　② 燃料の削減：基準年比　　△1%　　2.1%

2．一般廃棄物の削減：基準年比　　△1%　　1.1%

　　リサイクル率：基準年度比　　64%　→　66 %

3．産業廃棄物の削減：リサイクル率　88%　→　91 %

4．水使用量の削減　：基準年比　　△1%　　△14 %

5．化学物質の低減　：化学物質の保管管理及び保管場所の徹底清掃

6．2012 年度　販売目標 24 台　実績 34 台

　① 環境配慮製品の開発及び販売促進：クーラント製品

　（金属加工機の冷却、洗浄、潤滑の目的に油性又は水溶性の液をかける。この液の浄化装置の事）及び遠心分離機等の販売促進

　② 業務用　光触媒環境浄化装置の販売（新規事業）

7．地域清掃活動

　2012 年度　目標 25 回　実績 41 回

8．購入資材・事務用品のグリーン購入

　2012 年度　目標 65%　実績　78%

項目 ＼ 年度		基準年度（2009～2011）	2012年度		
		実績	目標	実績	評価
売上高	売上高百万円	438	-	497	-
電力 CO_2 排出量	購入電力 kwh	94,059	93,118	92,500	○
	kg-CO_2	47,312	46,838	46,528	
	基準年度比	-	△1%	△1.7%	
燃料 CO_2 排出量	kg-CO_2	36,436	36,071	37,211	×
	基準年度比	-	△1%	2.1%	
一般廃棄物排出量	資源化量/排出量	2,712/4,325	2,740/4,282	3,153/4,814	○
	基準年度比	-	△1%	1.1%	
	リサイクル率	６３%	６４%	６６%	
産業廃棄物排出量	リサイクル率	８７%	８８%	９１%	○
水資源排出量	m^3	４２２	４１８	３６２	○
	基準年度比	-	△1%	△14%	
化学物質の適正管理と清掃（達成率）	回	２３	２４	２４（100%）	○
環境配慮製品販売量（達成率）	台	23	24	34（142%）	○
地域清掃活動（達成率）	回	40	25	41（164%）	○
事務用品グリーン購入	%	64	65	78	○

※購入電力の CO_2 排出係数は、九電の平成 23 年度排出係数 0.503（kg-CO2/kwh）で算出している。

6　2012 年度 環境活動の取り組み計画と評価

◎よくできた　○できた　△あまりできなかった　×できなかった

取り組み計画	達成状況	評　価
電力による二酸化炭素排出量の削減		
・冷房温度２８℃設定	◎	デマンドを設置し、電力の消費が高くなると、警報ランプが作動するようにしました。事務所も断熱フィルムやよしずを立てかけました。
・暖房温度の１８℃設定	◎	
・不要・休憩時間照明の消灯	◎	
・ＯＡ機器のこまめ OFF	◎	
・エアコンフィルターの月 1 清掃	○	
・緑のカーテン	○	
・断熱フィルム	◎	
自動車燃料による二酸化炭素排出量の削減		
・急加速発進の抑制	◎	日頃の運転に気を付け、常務の車を、ハイブリッドカーへ買換えをしました。
・冷暖房の控えめ使用（25℃）	◎	
・買換え時はエコカーを購入する	◎	
一般廃棄物の削減		
・裏紙使用	◎	裏紙利用は、徹底されました。ミスプリント、再利用も良く取り組み出来ました。 シュレッダーの廃紙も、リサイクル業者へ引き取ってもらいました。
・両面印刷コピーの徹底	◎	
・ミスプリントを減らす	◎	
・雑誌、カタログダンボールの再生利用への徹底	◎	
・シュレッダー廃紙のリサイクル化	◎	
産業廃棄物（廃プラ）の削減		
・委託処分廃棄物の削減	◎	細かな分別の徹底により削減が上手く出来た。自社のクーラント装置をマシニングに取り付けました。
・工事での産廃の分別徹底	◎	
・廃油を減らすために自社のクーラント装置を取り付ける	◎	

取り組み計画	達成状況	評　価
節水		
・雨水の有効利用（洗車等）	◎	雨水タンクを増設しました。 女性トイレに音姫を設置しました。
・雨水タンクの増設	◎	
・音姫の設置	◎	
化学物質の低減		
・化学物質の保管管理及び清掃	◎	在庫チェック表を作成し、毎月管理を行いました。
・塗装場清掃毎月 1 回	◎	
・在庫管理を行い、在庫を減らす	◎	
製品への環境配慮		
・クーラント製品・遠心分離機等環境配慮製品の販売促進	◎	業務用光触媒環境浄化装置を含め、販売台数は大幅に達成クリアできました。
・環境配慮型クーラント製品開発予定	◎	
・製品の計画・進捗状況の把握	◎	
社会貢献		
・公民館の清掃	◎	毎週水曜日を掃除の日と定め、草刈り機等を使用し清掃しました。
・周辺道路の清掃	◎	
購入資材・事務用品のグリーン購入		
・事務用品グリーン購入	◎	事務用品のエコマーク対象品をなるべく購入しました。バイブリッドカーを購入しました。制服もクールビズ・ウォームビズ用を購入しました。
・購入資材の環境配慮	△	
・省エネ性能の高い電気製品の購入	◎	
・エコカーの購入	◎	
・クールビズ・ウォームビズ制服の購入	◎	

７ ２０１３年度の取り組み

（1）２０１３～２０１５ 年度環境目標

項　目 ＼ 年　度		2009～2011 年度実績平均	2013 年度目標 2013 年７月～ 2014 年６月	2014 年度目標 2014 年７月～ 2015 年６月	2015 年度目標 2014 年７月～ 2015 年６月
電力 CO_2 排出量	kg-CO_2	47,312	46,365	45,892	45,419
	基準年度比		△2%	△3%	△4%
燃料 CO_2 排出量（燃費比較を加える）	kg-CO_2	36,436	35,707	35,342	34,978
	基準年度比		△2%	△3%	△4%
一般廃棄物リサイクル率	基準年度比 %	６３	64	65	65
産業廃棄物リサイクル率	基準年度比 %	８７	89	90	90
水資源排出量	m^3	422	414	409	405
	基準年度比 %		△2%	△3%	△4%
化学物質の適正管理と清掃	回	前年度実績 24	24	24	24
環境配慮製品販売量	台	23	24	24	24
地域清掃活動	件	前年度実績 41	25	25	25
資材・事務用品のグリーン購入	%	前年度実績 78	66	67	68

（2）２０１３年度活動計画

取り組み計画			
電力の二酸化炭素排出量の削減	**一般廃棄物の削減**	**節水**	**社会貢献**
・冷房温度２８℃設定	・裏紙使用	・雨水の有効利用（洗車等）	・公民館の清掃
・暖房温度の１８℃設定	・両面印刷コピーの徹底	・雨水タンクへの貯水管理	・周辺道路の清掃
・不要・休憩時間照明の消灯	・ミスプリントを減らす		
・ＯＡ機器のこまめ OFF	・雑誌、カタログダンボールの再生利用への徹底	**化学物質の低減**	**購入資材・事務用品のグリーン購入**
・エアコンフィルターの月１清掃		・化学物質の保管管理及び清掃	・事務用品グリーン購入対象品の購入
・緑のカーテン	・シュレッダー廃紙のリサイクル化	・塗装場清掃徹底１回/月(年 12 回)	・購入資材の環境配慮
・断熱フィルム	**産業廃棄物（廃プラ）の削減**	・在庫管理を行い在庫を減らす	・省エネ性能の高い電気製品の購入
自動車燃料の二酸化炭素排出量の削減	・委託処分廃棄物の削減	**製品への環境配慮**	・エコカーの購入
・急加速発進の抑制	・工事での産廃の分別徹底	・クーラント製品・遠心分離機等環境	・クールビズ・ウォームビズ制服の購入
・冷暖房の控えめ使用（27℃）	・廃油を減らすために自社のクーラント装置取付	・環境配慮型クーラント製品開発予定	
・買換え時はエコカーを購入する		・業務用光触媒環境浄化装置の販売	

8 環境関連法規制 等の違反、訴訟の有無

環境関連法規制等の遵守状況　　法的義務を受ける主な環境関連法規制は次の通りである。

適用される法規制	規　制　内　容	適用される施設物品等
廃棄物処理法 （産業廃棄物）	・委託先許可業確認 ・収集運搬・処理業者との契約 （委託契約・産廃管理票発行・5 年間保管） ・産廃保管基準、保管置場の表示 ・産業廃棄物管理票交付等状況の行政報告 ・自社による運搬時の表示・書類携行 ・多量排出業者、産廃処理計画・実施状況報告書提出、特別管理産業廃棄物管理責任者の設置	廃プラ 金属くず 廃油 廃酸 コンクリートくず
浄化槽法	・設置届出・浄化槽の維持管理 ・定期点検・定期清掃・定期水質検査	合併浄化槽
自動車リサイクル法	・使用済み車は引き取り業者に引き渡す。新車購入時にリサイクル費用を支払う	自動車
家電リサイクル法	・家電製品の廃棄時にリサイクル料金支払い	TV、冷蔵庫、 家庭用エアコン
小型家電リサイクル法	・使用済小型電子機器、その他の電気機械器具の再資源化促進 ・事業者の責務 ・使用済機器の分別排出.収集運搬又は再資源化を適正に処理し得る者への引渡し	家電ﾘｻｲｸﾙ法適用外の使用済小型電子機器その他の電気機械器具（通信機器、映像機器、音響機器、電動工具類等）
改正リサイクル法	・パソコンの部品資源回収、 ・メーカーへの引取り手続き・リサイクル	社内パソコン
騒音規制法	・特定施設の届出　空気圧縮機 7.5ｋｗ以上。規制基準の遵守	空気圧縮機 7.5ｋｗ 2 台

適用される法規制	規　制　内　容	適用される施設物品等
消防法	・届出（指定数量以上保管の場合） ・指定数量 1 以上：危険物倉庫 ・危険物取扱資格者の設置 ・指定数量 0.2 以上：少量取扱所	第 4 類：引火性液体 うすめ液 （指定数量以下で届出必要なし）
毒物及び劇物取締法	・事故時連絡 ・保管場所の表示 ・盗難、流出防止	硝酸
労働安全衛生法	・有機溶剤の適正な管理・MSDS の周知	うすめ液
特定化学物質障害予防規則 有機溶剤中毒予防規制	・密閉化・漏洩防止・腐食防止 ・MSDS の周知・掲示・換気・保護	硝酸・うすめ液
フロン回収・破壊法	・フロン類の適切な処理、回収・破壊の工程の確認、規制基準の遵守、引取・処理証明書交付保管	業務用空調設備 コンプレッサー
条例　鹿児島県地球温暖化対策推進条例	・環境マネジメントシステムの導入 ・廃棄物発生抑制・再使用・再生利用 ・温室効果ガスの排出量の把握 ・公共交通機関等の利用再生可能エネルギーの優先的な利用	電力 自動車燃料

環境関連法規及び条例等への違反、また訴訟等の有無について、2013 年 7 月に確認した結果、法律違反等はありません。
また、地域住民からの訴訟や苦情や要望、行政からの指導などは過去 3 年間ありません。（2013 年 7 月 28 日現在）

代表者による全体の評価と見直し

１．環境活動の取組み結果の評価

2012 年度の環境負荷目標削減では、自動車燃料と一般廃棄物削減が未達成でした。事業の拡大（売上高 21％増）に伴って使用量が増加したことが主な要因ですが、自動車燃料で 2％増、一般廃棄物で 1％増加に抑えられたこと、その他の目標項目は着実に目標達成できたことは評価できます。

EA21 システムや従業員のエコ意識は、部門責任者による会議や教育、部門でのコミュニケーション、環境活動で着実に根付いて来ています。

地域清掃活動など外部とのコミュニケーションも地域社会からは評価を頂くなど成果を上げています。コンプライアンスについても問題もなく、環境問題の発生もありませんでした。

２．実績の評価

電力の削減は、前年比売上 21％増の中、目標値△1％→実績△1.7％で、辛うじて達成しましたが、2012 年度は、オンデマンド装置を設置し、契約料金値下げや 20kWh/日消費量削減への取り組みをスタートさせました。

燃料はエコカーを１台導入し、２台になったものの目標を達成できませんでした。わが社の顧客は全国に散在し、年度により、近在の受注が多い場合と遠方の受注が多い場合では過去の実績平均では単純に行かない場合があり、達成は難しい面もありますが、エコドライブや無駄な走行、不要物の不掲載、効率的な配車などに取組んでいます。

一般廃棄物も目標を達成できませんでしたが、リサイクルに努め、資源化率は目標を達成できました。産業廃棄物も従業員の意識の高まりや分別回収の徹底、有価物処理で資源化率 91％になり、目標を達成できました。

水道水の使用量削減、化学物質の適正な管理及び清掃、環境配慮製品の開発販売、地域清掃活動はいずれも目標をクリアできました。購入資材・事務用品のグリーン購入も目標を達成しました。

３．今後の取り組み

2013 年度は、EA21 システムの更なるレベルアップは勿論、環境負荷削減目標は 2012 年度の活動項目に加え、電球のＬＥＤ化への取組や新工場建設（塗装場併設）での環境や安全衛生に配慮した工場を目指します。また、大阪、東京営業所も 2013 年度より、一般廃棄物の分別削減、自動車燃料の削減から目標を設定して取り組みます。

10 環境活動の紹介

主 な 活 動

1　環境方針の周知

東京営業所、大阪営業所にも、
環境方針を掲げました。

本社の玄関にはＥＡ２１の認定書と鹿児島銀行の環境格付けの認定書

新入社員に対しての、エコの
勉強会も行いました。

毎月、各社員２件ずつの改善メモの提出があり、その中
にも、エコ活動に対する改善提案もあります。
組立場の掲示板に掲示されます。

２　環境関連法規の遵守

消火器の使い方の講習を行いました。特に新入社員に実技をしてもらいました。

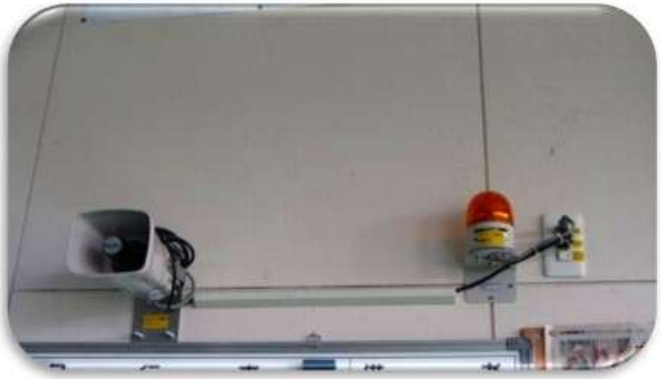
硝酸が流出した場合の、処置の方法を学びました。消石灰を使います。リトマス試験紙で PH を確認しながら中和する為にはどのくらいの量の消石灰が必要か確認しました

３　二酸化炭素排出量の抑制

エアコンスイッチの温度表示　暑い夏は、冷房２８℃　寒い冬も、暖房 18℃

自動販売機も省エネタイプに変更しました。

事務所にも、断熱フィルムを、貼りました。エアコンの効きが早くなりました。



デマンドを設置し、キュービクル内にセンサーを設置して、電力消費が６０kw に近づいたら音とパトランプの双方で警報を出し、エアコンを停めます。

緑のカーテンに挑戦も３年目！！

４　資源の効果的活用の推進

両面コピーの徹底とミスコピーの裏紙利用
きちんとトレーを分けて使用しています。
コピー料金とコピー用紙代を表示し節約を
促しています。

シュレッダーの排紙も古封筒も
リサイクルへ。

インクジェットプリンターの
インクカートリッジ回収ボッ
クスで完全回収。

外の廃棄物置き場も整然と管理
されています。

節水に
ご協力下さい。

500Ｌは、余裕で入るマトヤお手製雨水タンク
２台目の雨水タンクも増設しました。
１日降れば満タンになります。このタンクの水で洗車も行います。

トイレに流水音を取り付けました。

５　化学物質の適正な管理及び清掃

塗装場の清掃

整理整頓されて、定期的に清掃も行われています。注意書きもきちんと表示しています。

６　製品への環境配慮

６－１．環境配慮型クーラント製品の開発・販売

６－２．２０１２年度から、除菌と消臭を同時に行う業務用光触媒環境浄化装置の販売を開始しました。その為の研修会も行いました。

製造元の盛和工業、栗屋野会長から光触媒環境浄化装置の商品研修を受けました。

光触媒環境浄化装置

マグネットコンベヤ

7　地域の環境保全事業への参加

駐車場・ 周辺道路の清掃

駐車場や周辺道路、三枝前自治会公民館の庭、会社の垣根・・毎週水曜日の朝、社員全員で取り組んでいます。周辺道路の清掃時には危険回避の為､｢清掃中｣の立て看板を準備し車が通り時には、笛を吹いて安全を確認するようにしました。